



発行人 福島県教職員組合
発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
〔定価一部 20円〕
編集・責任者 瀬戸 禎子
e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
http://www.f-t-u.or.jp
(この購読料は組合費に含まれています。)

ろうぎんのキャッシュカードなら
ATMお引き出し手数料が
実質 **0円** 
ご利用手数料はいったんご負担いた
たく場合がありますが、即時キャ
ッシュバックいたします。
東北労働金庫

くみあいだから、何でも話せる! 悩みを共有できてスッキリ😊 各専門部大会・総会 対面やオンラインで開催!

事務職員部…6/7 女性部・青年部…6/14
障がい児教育部・養護教員部・栄養教職員部…6/28

25年度各専門部大会・総会は、対面開催、オンライン開催、対面とオンラインの併用と様々でしたが、各専門部の仲間で交流することの良さを再確認しました。

交流するだけでなく、学習会を設定した専門部もあり、組合でしかできない事を学びました。各専門部から出された意見は、秋の交渉や専門部交渉に活かしていきます。

栄養教職員部

- 県内の学校でも異物混入の事故があり、今まで以上に食材管理が厳しくなっている。大規模センターはもっと大変だと思う。
- 厳しい暑さの給食室で調理を行っている。休憩を挟みながら行っているが、毎日、熱中症の恐怖とたたかいながら実施している。
- 給食費の補助や無償化が進んではいるが、栄養価を上げるためには金額も大事。一食分の単価を見直す事が必要な自治体もある。

養護教員部

- フツ素洗口廃止に向けては、粘り強く取り組んでいく必要がある。反対派が少数であることに心が折れそうになるが、仲間とのつながりが支えになる。
- 養護教員の任用(再任用の活用や人事異動)や、養護教員の働き方の改善を求めたい。
- 今年度も学習と情報交換の機会を。専門部交渉も養護教員部独自で行いたい。アンケートを通して声を集めていく。



女性部

- 更年期障害で体調が悪くても、対応できる休暇が病休しか無い。男性にも対応できるように休暇制度の拡充を。
- 支援学級担任を希望する人が少なく、5学級のうち4学級が未経験者。地教委から年1回の研究授業の要請もあり、大変負担である。
- 支部女性部総会と学習会をセットで開催。アロマヒーリング体験を実施して、参加者が日頃の疲れを癒やした。
- 分会で4月から4人組合加入。なぜ組合加入に至ったか、その時の気持ちを書いてもらっている。他県経験者から、「福島県は無駄なことが多いのでは?」との声。数の力で良い方向に変えていきたい。



青年部

- 2校めの学校に異動となったが、経験したことの無い業務担当(特別支援学級担任、教科書担当)となり、戸惑っている。経験を積むことは大事だと思うが、仕事に慣れるまで負担が大きい。
- 今の学校で2年めとなり、昨年まで「おかしい」と思っていた業務について少しずつ改善することができてきた。自分と同じように感じていた仲間と協力して変えることができた。
- 地区が違うと校務分掌の考え方も違って、現任校は1年で担当が変わるシステム。じっくり子どもと関わって力をつけさせたいのに…。



専門部大会・総会つづき

事務職員部

- 給食無償化が各地で進んできている。また、給食費の補助を行う自治体も多くなってきた。
- いろいろな働き方の教職員（非常勤講師・育児短時間勤務職員・市町村雇用の支援員等）が増え、月末の勤務報告が多種にわたり煩雑になっており負担が大きい。
- 市町村の予算が少なくなっており、市町村費負担か保護者負担かで問題が生じている事例がある。
- 共同連携実施の中で本来業務でないグループ長の負担が増え、本人が希望していない異動があったり、新採用の配置で問題があったりと人事で問題が生じている。



障がい児教育部（総会+学習会）

- 県内小中学校で教員221人が未配置と報道された。教職員不足により止む無く2クラスをあわせて指導している実態も見られる。特別支援教育がおろそかにされていってしまうのではないかと懸念されている。
- 採用10年めまでに特別支援教育を複数年経験することがすすめられたことで、採用2校めなどの早い段階で初めて特別支援教育に当たる方が増えた。しかし、専門性を高めようにも学級運営や授業準備などに忙殺され、校内での理解も不足している。
- 高校入試での定員内不合格者数について、福島県は全国3位の多さ。障がいの有無により不合格とされることのないように注視する必要がある。



吉田書記次長の ぶくしまオルグ紀行¹⁵

今年度採用の方も組合に加入してくれました。「組合の輪」の広がり、うれしいですね。

Sさん（東白支部・小学校教員）



①「組合に入ろう」と思ったきっかけは？

「講師時代から親身になって話を聞いてくれ、アドバイスをくれた先生が誘ってくれました。私もそんな“気づける人”になりたいです。」

②今のお仕事をめざしたきっかけは？

「中学の頃に教わった先生がとても魅力的でした。厳しさの中にも優しさがあつた先生です。私もこんな存在になりたいと思ったのを、今も覚えています。」

③これから、どんな学校（職場）になってほしいと考えますか？

「支え合える職場です。年齢に関係なく、自分の得意なことを出し合って仕事をしたいですね。」

人とのつながりを大切にされているSさん。組合の学習会へ参加されたことも、加入のきっかけになったそうです。謙虚さの中にも、「こんな教員でありたい」という熱意のある先生です。よろしくお願いします！

今年もおじゃまします！

県教組キャラバン

9月から11月にかけて、県内16支部を回ります。日程が決まりましたら、各支部から分会に連絡が入ります。お時間を調整していただき、たくさん声を聞かせてください。
(※限られた時間での実施のため、訪問できない分会もあります。ご了承ください。)

みなさんの職場の課題や要望を聞きに行きます。管理職とも話をします。

組合未加入の方に組合について説明し、仲間を増やします。連携する団体も同行します。

冬のボーナスや、さまざまな制度の現状についてお知らせします。

市町村教委を訪問し、現場のみなさんの声を届け、改善を求めます。



ほ学校でか! Monster



8/30(土)

13:00~16:30

仙台
ガーデンパレス

日教組東北ブロックカリキュラム編成講座

講演：子どもの育ちを願う教育課程づくりと教育実践
～学習指導要領改訂の動向を見据えて～

講師：本田 伊克 さん
宮城教育大学大学院教授

参加をご希望の方は、県教組本部までご連絡ください。

9/27(土)

10:00~16:00

飯坂温泉
あづま荘

日教組 第75次福島県教育研究集会

講演：「いきたいと思える学校にしよう！
そのためには？」

講師：菊地 栄治 さん
教育文化総合研究所 所長
早稲田大学教育・総合科学学術院教育学部教授



9/28(日)

13:00~16:30

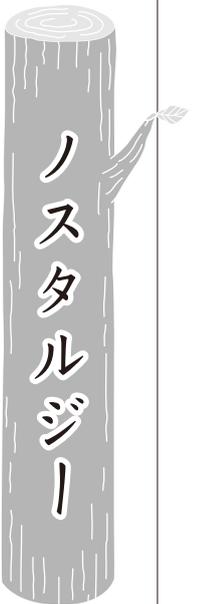
飯坂温泉
あづま荘

オータムセミナー

教職員のメンタルヘルスやカウンセリングに関する講演
と実践を行います。

講師：古澤 あや さん
公立学校共済組合東北中央病院 臨床心理士

県教研とオータムセミナーの詳細や参加申し込みについては、別紙の案内をご覧ください。みなさんのご参加を、お待ちしております！



今回のテーマは「正解の不確かさ」

「この戦争さえなかったら、愛する国のために死ぬより、わたしは愛する人のために生きたい！」朝ドラのセリフだ。戦後まだ八十年。このセリフの想いを実際のこととして抱えている方もおられることだろう。事実ぼくの父は通訳になりたいと思っていたが、敵国のことばを学ぶことははばかり、夢をあきらめた。伯母は、婚約者を戦争で亡くして生涯独身を貫いた。ドラマの中の遠いお話ではなく身近におきた現実がこのセリフには見える。「お国のために人生を全うすること」が正解とされそれ以外は許されなかった。当時は、「国防婦人会」も教員もこの「あるべき姿」から逃れることが難しく、結果的に推進してしまった。想像を超える同調圧力だったに違いない。終戦後、社会は変わり、「お国のために人生を全うすること」が正解ではなくなった。社会の正しいことは、その時々で変わってしまうのだ。意味合いは違うが、ぼくたちも原発事故やコロナ感染で同調圧力の恐ろしさや正解の不確かさを経験してきた。教育現場はどうだろう。社会から、大人からそして教職員から子どもたちへ「あるべき姿」の押しつけはないだろうか。個性尊重といえながら「将来のため」との理由で「よりよい学歴」への執着から、隣人と支え合うためではなく、「隣人よりも困らないように」するための評価構造になっていないだろうか。「分らないから学び合ひ、できないから支え合う」のどとぼくは思う。だから、「できる」ようになることだけが正解ではない。分らない中でも考え続けることの大切さを強調したい。常に本当に正しいのかを問い続け、ひとつの正解を求めることからの脱却を図ることが今、学校には必要なことなのではないだろうか。社会から教職員へ「あるべき姿」の押しつけや教職員間の同調圧力も無意識を含めてかなりある。だから教職員のなり手不足や早期退職が止まらない。いまや多様性の時代だ。しかしぼくは、「あるべき姿」を押しつける社会のあり方は、変わっていないと思う。どんどん強まっているように思えてならない。空気や固定概念に惑わされず、一人ひとりの考えや生き方を尊重し、認め合うことで間違った道を歩き始めてしまう危険性を回避したい。正解は正解でないかもしれないことを考えながら。

(K・I)



期間 令和7年7月19日(土)~8月23日(土)

お盆期間中は対象外

大人 (中学生以上)

1泊2食(税・サ込)

組合員料金 13,000円

↓
宿泊利用
助成後 **7,000円** 税サ込

小学生以下対象プラン

子供膳

1泊2食(税・サ込)

組合員料金 9,000円

↓
宿泊利用
助成後 **6,000円** 税サ込

キッズプレート

1泊2食(税・サ込)

組合員料金 7,700円

↓
宿泊利用
助成後 **4,700円** 税サ込

あづま荘で夏の思い出作り

子どものための 夏休みプラン

嬉しい特典!

※子供プラン対象

1



お子様※
花火プレゼント

2



お子様※夕食時
ソフトドリンク一杯
サービス

3



宿泊者全員に
アイスプレゼント



◇夏休みプランの掲載料金は日曜日から木曜日の平日料金です。(1室2名以上お1人様) 金曜日+1,000円/土曜日・祝前日+2,000円

◇ソフトドリンクサービスは子育て支援カードとの併用は出来ません。

◇1室1名利用+1,000円 ◇写真は全てイメージです ◇無料駐車場有(80台)

■掲載料金は、公立学校共済組合福島支部・(一財)福島県教職員互助会又は(一財)福島県職員共助会の宿泊利用助成控除後の金額となります。

お盆期間中特別プラン

風鈴 プラン

(1泊2食付き)

令和7年8月9日(土)
~8月16日(土)

風コース

組合員料金 18,500円 税サ込

共済・互助会の利用助成で

【国産黒毛和牛】
陶板焼き付き



↓
12,500円 税サ込

鈴コース

組合員料金 16,500円 税サ込

共済・互助会の利用助成で

↓
10,500円 税サ込

小学生以下のお子様(1泊2食)

共済・互助会宿泊助成で

◇ 子供膳タイプ ◇

組合員価格 9,500円 ⇒ **6,500円**

◇ キッズプレートタイプ ◇

組合員価格 8,200円 ⇒ **5,200円**

【公立学校共済組合飯坂保養所】
桃花の里 飯坂温泉

あづま荘



お問合せ御予約 TEL 024-542-3381
〒960-0201 福島市飯坂町字中ノ内1-1

